

平成30年度 公益財団法人さいたま市体育協会 事業報告書

I 市民の健康及び体力づくりの推進（定款 第4条第1号）

1 シニアスポーツ大会開催事業

概ね50歳以上の市民を対象にした野球、ソフトボール、サッカー及びバレーボール競技のスポーツ大会を開催するとともに、健康増進、体力向上を図るイベントを開催した。

実施日時…平成30年6月9日（土）

会 場…浦和駒場スタジアム・浦和総合運動場・浦和駒場体育館

対 象 者…サッカー・軟式野球 50歳以上 ソフトボール 60歳以上
バレーボール 45歳以上、健康フェア 40歳以上

参 加 者…26チーム 669名（前年 26チーム 515名）

参 加 費…1チーム 3,000円

《種目別チーム・参加者内訳》

| 種目 | チーム | 参加者 |
|--------|-----|-----|
| サッカー | 11 | 266 |
| 軟式野球 | 4 | 87 |
| ソフトボール | 6 | 76 |
| バレーボール | 5 | 107 |
| 健康フェア | - | 133 |
| 合計 | 26 | 669 |

2 リンパエクササイズ教室開催事業

体にある5つのリンパ節の滞りを取り、新陳代謝を高める体操教室を開催し、免疫機能を高め、健康維持を目的とする。中・高齢者の方でも気軽に参加できる教室を開催した。

開催時期…①平成30年5月10日・17日・31日・6月7日・14日（毎週木曜日）

②平成30年8月9日・16日・23日・30日・9月6日（毎週木曜日）

③平成30年9月13日・20日・27日・10月4日・11日（毎週木曜日）

④平成31年1月10日・17日・24日・31日・2月7日（毎週木曜日）

会 場…サイデン化学アリーナ 多目的室

参 加 者…①136名（延）（前年 147名（延））

②121名（延）（ 113名（延））

③145名（延）（ 136名（延））

④144名（延）（ 125名（延））

参 加 費…4,000円

3 シェイプアップキックボクシング教室開催事業《新規事業》

生涯スポーツの一環として、体力増進と基礎代謝の向上に効果があり、ダイエット効果やストレス発散効果も高いボクシングに、キックの動作を加えより全身運動できる教室を開催する事によって健康増進を図る教室を開催した。

開催時期…平成31年1月19日・26日・2月2日・16日・23日（毎週土曜日）

会 場…サイデン化学アリーナ 多目的室

参加者…116名(延)

参加費…4,000円

4 チューブ体操教室開催事業《新規事業》

トレーニング初心者から気軽に使うことができ、使い方によっては筋力トレーニング
上級者のトレーニングにも役立つチューブを使用した教室を開催し、基礎体力の向上
と健康維持を図った。

開催時期…平成30年10月3日・10日・17日・24日・31日(毎週水曜日)

会場…サイデン化学アリーナ 多目的室

参加者…124名(延)

参加費…4,000円

5 親子で楽しむスポーツチャレンジ開催事業《名称変更》

親子で楽しめる体験型イベントを開催し、気軽にスポーツに触れ合い、楽しめるイベ
ントを開催。

開催期日…①平成30年 4月29日(日) サイデン化学アリーナ

種目:バドミントン・卓球・トランポリン・なぎなた・太極拳

②平成30年 7月14日(土) サイデン化学アリーナ

種目:卓球教室

③平成30年10月 6日(土) サイデン化学アリーナ

種目:卓球教室

対象者…一般市民

参加者…① 703名(延) (前年 902名(延))

② 209名 (1, 261名(延))

③ 147名 (1, 611名(延))

II 体育・スポーツ指導者の養成及び資質の向上 (定款 第4条第2号)

1 さいたまスポーツセミナー開催事業

市内スポーツ指導者を対象に、理論・実践方法を身に付け、スポーツ指導者としての
総合的な資質の向上を図ることにより、競技力向上及び生涯スポーツの振興に寄与す
ることを目的として開催した。

| 実施日時 | 内容 | 講師 |
|---------------|---------------------------------------|--|
| 平成31年3月16日(土) | 木の上に立ってみましょう ～コーチングによる『自立型人材』の育て方～ | 東京ガス株式会社 阿久根 謙司 |
| | 幼少とジュニアアスリートの運動指導で 留意すべき点 | 元全日本フリースタイルスキ ーチームフィジカルコーチ 遠山 健太 氏 |

会場…浦和コミュニティセンター

対象者…一般市民

参加者…61名(前年 全3回 114名(延))

参加費…1,000円

Ⅲ 体育・スポーツ団体及びスポーツ少年団の育成 (定款 第4条第3号)

(スポーツ少年団事業については別紙)

1 加盟団体助成事業

加盟団体の活動を支援するため、団体運営に必要な費用を補助した。

期 間…平成30年8月

対 象…加盟団体

2 スポーツ少年団育成事業

青少年スポーツを振興し、心身の健全な育成に資することを目的とし、スポーツ少年団を育成した。(「スポーツ少年団事業報告」参照)

Ⅳ 加盟団体の競技力向上及び大会等への選手の派遣 (定款 第4条第4号)

1 大会派遣費補助事業

加盟団体に登録している選手が関東大会、全国大会、国際大会又はこれらに準ずる各種スポーツ大会に出場する場合、交通費及び宿泊費の一部を補助した。

各種大会派遣補助事業 (助成件数) (前年54件)

| | 団体(件) | 個人(件) | 合 計 |
|------|-------|-------|-----|
| 全国大会 | 5 | 32 | 37 |
| 関東大会 | 2 | 12 | 14 |
| その他 | 1 | 0 | 1 |
| 合 計 | 8 | 44 | 52 |

全国大会出場…10種目・30大会
(個人140名・団体5チーム)

関東大会等出場…7種目・11大会
(個人114名・団体2チーム)

その他(都市対抗野球大会)…1チーム

Ⅴ 各種大会、講習会及び各種スポーツ事業の実施並びに援助 (定款 第4条第5号)

1 市民体育大会開催事業《受託事業》

さいたま市が主催する市民体育大会開催業務を受託開催するとともに、大会を主管する加盟団体に対し、大会運営に要する費用の一部を補助した。

開催期日…平成30年4月～平成31年3月

会 場…さいたま市内体育施設 等

対 象 者…一般市民

大 会 数…加盟団体32団体が開催

2 スポーツ振興基金《新規事業》

本協会を主体とし加盟団体に所属する団体・個人だけではなく市内在住・在学の小中学生等を対象とする計画的かつ効果的なスポーツ事業を実施する団体に補助金を交付するためのスポーツ振興基金を交付する団体を選定し基金助成を行った。

選考団体…さいたま市サッカー協会(1年目)

3 団体主催大会開催補助事業

加盟団体が主催する大会、講習会等に対し、その費用の一部を補助した。

期 間…平成30年7月～平成31年3月

4 親子サッカー教室開催事業

2つのJリーグチームのホームタウンとなっている「サッカーのまち」さいたま市。全国でも屈指のサッカー王国で、「見る」だけでなく「参加する」スポーツをアピールし、親子で楽しみながらサッカーに親しむ教室を開催した。

開催時期…平成30年10月6日（土）

会 場…サイデン化学アリーナ サブアリーナ

参加者…21組42名（前年 台風により中止）

参加費…4,000円

5 スポーツ教室開催補助事業

市民を対象としたスポーツ教室（団体の特定者の講習・研修会を除く。）を実施する加盟団体に対して、その費用の一部（5万円）を補助した。

今年度補助団体……テニス・体操・ソフトボール・弓道・山岳・なぎなた・太極拳・トランポリン・バドミントン

6 市民スケート教室開催事業

家族・友人同士で気軽に楽しめるウインタースポーツであるスケートの指導を参加者の技能に合わせて行った。

実施期日…平成30年12月15日（土）・16日（日）

会 場…沼影アイススケートリンク（沼影市民プール）

対 象 者…一般市民（小学生以上）

参加者…187名（延）（前年 195名（延））

参加費…2,280円（貸靴代別途）

7 障害者交流スポーツ「フットサル教室」開催事業

障害を持った方々が、技能に合わせて行うフットサル教室を開催した。また、元プロサッカー選手の指導を得て技術の向上と楽しむ場を提供した。

開催期日…平成31年2月3日（土）

会 場…サイデン化学アリーナ サブアリーナ

対 象 者…障害がある一般市民

参加者…27名（前年 22名）

参加費…無料

VI 体育・スポーツに関する調査研究及び情報発信

（定款 第4条第6号）

1 ホームページ開設事業

平成30年度に日本スポーツ振興センターの助成を受け本協会ホームページのリニューアルを行った。内容は行事予定、ディスクロージャー等を掲載し、本協会事業を積極的に発信した。また、加盟団体に対して、各種申請書等のダウンロード、情報提供等の電子窓口として活用した他、情報発信、会員募集及び市内体育・スポーツ関連情報を提供した。

アドレス…<https://www.saitamacity-sports.or.jp/>

内 容…体協概要、事業報告・計画、予算・決算、参加者募集記事の掲載 等

2 公式レポート・ツイッター開設事業

ホームページ内にレポート並びにツイッターを開設し、教室募集状況等のリアルタイムなスポーツ情報発信を行った。また、ブログは本協会事務局を経由し、加盟団体が気軽に情報発信できるようにし、市内スポーツ関連情報を気軽に提供する場とした。

3 広報誌等発行事業

本協会の事業内容、加盟団体の活動及び体育スポーツの情報を掲載した広報誌を発刊するとともに、本協会事業の周知・宣伝に努めた。また、平成30年度より日本スポーツ振興センターの助成をうけ4万部への増刷を行った。

広報誌

タイトル… スポーツライフさいたま15号

様式… A4・見開き・44ページ

内容… 加盟団体紹介・スポーツ少年団部会紹介・ラグビーW杯大会紹介 等

印刷部数… 40,000部 (前年 20,000部)

発刊回数… 年1回

配布先… 体協加盟団体・市内各学校・市内スポーツ施設 等

VII 市内スポーツ施設の管理運営に関する事業

(定款 第4条第8号)

1 大原スポーツ広場管理運営事業

多目的に使用できる大原スポーツ広場の管理運営を行い、グラウンドの貸出や市民スポーツの振興に役立てた。

(前年 177件 28,670名)

| 利用種目 | 申込件数 | 利用人数 |
|------|------|--------|
| 野 球 | 43 | 4,869 |
| サッカー | 100 | 13,177 |
| ラグビー | 9 | 460 |
| その他 | 6 | 8,930 |
| 合 計 | 158 | 27,436 |

※総合型地域スポーツクラブ占用利用分除く

VIII その他目的を達成するため必要な事業

(定款 第4条第9号)

1 専門委員会開催

本協会の事業を専門的に検討するために総務・財務・広報委員会を開催した。

| 委員会名 | 内 容 | |
|-------|-----------------|-------------------------------|
| 総務委員会 | 平成30年 8月 9日 (木) | 体育協会の使命について・文部科学大臣表彰、情報公開規程 等 |
| | 平成30年 8月29日 (水) | |
| | 平成30年10月10日 (水) | |
| | 平成31年 1月17日 (木) | |
| 財務委員会 | 平成30年 8月28日 (火) | 賛助会員の募集について 等 |
| | 平成31年 1月23日 (水) | |
| 広報委員会 | 平成30年 7月31日 (火) | HPのリニューアルについて 等 |
| | 平成31年 1月22日 (火) | |
| 全体会 | 平成30年10月15日 (月) | 賛助会員のお願いについて 等 |
| | 平成31年 3月25日 (月) | |
| 実行委員会 | 平成31年 3月27日 (水) | 総合開会式について 等 |

会 場・・・サイデン化学アリーナ (総務・財務・広報・実行委員会)
浦和コミュニティセンター (全体会)

- 2 自主財源確保調査研究事業 (政令指定都市体育協会研究協議会)
昨今の財政事情を踏まえ、組織の財政健全化と自主財源確保の方策を調査・研究、政令市の体育協会・スポーツ協会が一堂に会す研究協議会に参加し、意見交換・情報共有を図った。

- 3 AED (自動体外式除細動器) 貸出業務
本協会並びにスポーツ少年団等がAED (自動体外式除細動器) の設置のない遠隔地等で活動を行う場合、迅速な救命活動を実施することができるようにするため、AEDの貸出を行った。

貸出件数・・・22件 (前年 15件)
貸出料金・・・無料

- 4 スポーツ用品貸出事業
市民スポーツ振興の推進を目的として、本協会が所有するスポーツ関連用具のレンタルを行った。
貸出備品 バドミントンラケット・プラカード・テント・表彰盆等

- 5 さいたま市関連協力事業

体育賞表彰式協力事業《さいたま市 協力事業》
体育スポーツの振興に貢献した者及び各大会に優秀な成績を収めた者を表彰し、その功績及び栄誉をたたえる。

開催期日・・・平成31年3月9日 (土)
会 場・・・市民会館おおみや
対 象 者・・・競技団体優秀選手及び功労者等

さいたま国際マラソン協力事業《さいたま市 協力事業》
さいたまスーパーアリーナをスタート・ゴールとする、全国規模のさいたまシティマラソンを開催する。

開催期日・・・平成30年12月9日 (日)
会 場・・・さいたまスーパーアリーナをスタート・ゴールとする市内特設コース
参 加 者・・・約18,000名

- 6 総合開会式開催事業
本協会の存在感をアピールし、関連団体との絆や連帯感を高めるために加盟団体とスポーツ少年団部会が一堂に会し、平成30年度シーズンの幕開けとなる総合開会式を行った。

開催期日・・・平成30年4月29日 (日)
会 場・・・サイデン化学アリーナ
参 加 者・・・750名 (延)

7 協会表彰式

体育協会独自の体育賞を設け、総合開会式内で協会賞並びに優秀指導者賞を授与した。

開催期日…平成30年4月29日（日）

会 場…サイデン化学アリーナ

受 賞 者…35名

平成30年度 さいたま市スポーツ少年団 事業報告書

I スポーツ少年団育成指導の援助 (規程 第5条第1号)

1 スポーツ少年団種目別部会等助成事業

スポーツ少年団加盟団体の活動を支援するため、各部会に対し、必要な助成を行った。

期 間…平成30年9月

対 象…各種目別部会

算出方法…基本額30,000円+@570×団員数

2 スポーツ少年団大会派遣補助事業

スポーツ少年団に登録している選手等が関東大会又は全国大会に出場する場合、交通費及び宿泊費の一部を補助した。

(前年 8件)

| | 団体(件) | 個人(件) | 合計 |
|------|-------|-------|----|
| 全国大会 | 3 | 1 | 4 |
| 関東大会 | 1 | 2 | 3 |
| 合計 | 4 | 3 | 7 |

全国大会出場 … 団体 与野水球クラブ(夏・春)・宮原ジュニアバレーボール
個人 修心館空手

関東大会出場 … 団体 宮原ジュニアバレーボール
個人 大宮ジュニアソフトテニス・大宮ウィナーズ(バドミントン)

3 スポーツ少年団大会・部会大会開催事業

各種目別に、さいたま市スポーツ少年団主催によるスポーツ少年団大会及びスポーツ少年団主催の部会大会を開催し、市内のスポーツ少年団の競技力向上及び健全育成を推進した。

4 スポーツ少年団地域交流推進事業

他市町村スポーツ少年団との交流により、団員のコミュニケーション能力を高めるとともに、単位団数の少ない種目の活動を活発化させるため、地域交流に対し、必要な助成を行った。

| No | 部会 | 実施期日 | 事業名 | 金額 |
|----|--------------|------------------|---------------------------------------|--------|
| 1 | サッカー | 11月24日 | 浦和少年サッカートレーニングセンター 親善交流大会 | 50,000 |
| 2 | サッカー | 9月15日～ 9月16日 | 浦和Jrサッカー招待大会 | 50,000 |
| 3 | サッカー | 7月7日 | 2018年度浦和トレセン交流大会 | 50,000 |
| 4 | バスケット ボール | 11月24日～ 12月9日 | さいたま市スポーツ少年団・ 第16回ミニバスケットボール地域交流大会 | 50,000 |
| 5 | 野球 | 9月16日～ 10月7日 | 平成30年度さいたま市スポーツ少年団 地域交流少年軟式野球大会 | 50,000 |

| | | | | |
|-----|------------|-----------------|---------------------------------|---------|
| 6 | 野球 | 8月4日～ 8月12日 | 第7回浦和カップジュニア大会 | 50,000 |
| 7 | ソフト ボール | 8月25日～ 10月7日 | さいたま市スポーツ少年団ソフトボール秋季大会 | 50,000 |
| 8 | バレー ボール | 3月24日 | 平成30年度 さいたま市スポーツ少年バレーボール交流大会 | 50,000 |
| 9 | ソフト テニス | 10月21日 | 平成30年度 さいたま市ジュニアソフトテニス研修大会 | 50,000 |
| 10 | 卓球 | 12月1日 | 第17回地域交流卓球大会 | 50,000 |
| 11 | 陸上 | 10月21日 | 浦和スポーツ少年団招待親善陸上記録会 | 50,000 |
| 合 計 | | | | 550,000 |

II スポーツ少年団指導者及びリーダーの養成

(規程 第5条第2号)

1 スポーツ少年団指導者現地研修会派遣事業

県内市町村スポーツ少年団指導者が、種目別大会の今後の運営方法について協議する研修会に、スポーツ少年団の各種目部会から代表者を派遣し、相互の情報交換を通して指導者の資質向上を図る。

実施日時…平成31年3月9日(土)～10日(日)

会 場…群馬県水上温泉 『水上館』

対 象 者…スポーツ少年団各種目別代表・本部員

参 加 者…23名

【内訳】…サッカー部会 7名 バasketボール部会 3名
野球部会 10名 ソフトボール部会 2名
卓球 1名

2 スポーツ少年団指導者認定員養成講習会事業

スポーツ少年団の指導者資格である『スポーツ少年団認定員』の養成講習会を開催して、有資格指導者を増やすことともに指導者の資質向上を図った。

実施期日…前期 平成30年 9月1日(土)・2日(日)

後期 平成30年11月3日(土)・4日(日)

会 場…前期 ときわ会館

後期 ときわ会館

対 象 者…少年団登録指導者・登録予定指導者

参 加 者…前期167名・後期102名 計269名(前年 計257名)

参 加 費…2,160円

| 内 容 | 講 師 | |
|-----------------|-------|-------|
| | 前期 | 後期 |
| スポーツ少年団の理念とその意義 | 大澤 静香 | 小倉 均 |
| 組織と運営 | 大澤 静香 | 小倉 均 |
| 運動適性テスト | 山下 實 | 山下 實 |
| 文化としてのスポーツ | 長谷川 司 | 山下 實 |
| 指導者の役割 | 関根美智夫 | 長谷川 司 |

| | | |
|-------------------|-------|-------|
| トレーニング論Ⅰ | 長谷川 司 | 安倍 正幸 |
| スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ | 塩野 潔 | 塩野 潔 |
| スポーツと栄養 | 小林夕紀恵 | 小林夕紀恵 |
| 指導計画と安全管理 | 小林夕紀恵 | 小林夕紀恵 |
| ジュニア期のスポーツ | 嶋田 広昭 | 安倍 正幸 |
| 地域におけるスポーツ振興 | 山下 實 | 山下 實 |

3 スポーツ少年団母集団育成研修事業

スポーツ少年団における「母集団」の意義と具体的な活動方法についての講習会を開催し、スポーツ少年団活動の基盤を支える母集団の育成を図った。

実施期日…平成30年7月7日（土）

会 場…ときわ会館 5階 大ホール

対 象 者…スポーツ少年団母集団

参 加 者…150名（前年 140名）

参 加 費…無料

| 内容 | 講師 |
|---------------------------------|------------------------------|
| 熱中症予防について | 大塚製薬株式会社 |
| スポーツ少年団と母集団 | さいたま市本部員 長谷川 司 |
| 母集団活動について | 埼玉県本部員 山下 實 |
| トップアスリートから学ぶ少年期の コンディショニング方法 | 一般社団法人健康につぼん 代表理事 遠山 健太 氏 |

4 リーダー育成事業

団員の個性伸長・少年団の組織的成長を目的に定められた日本スポーツ少年団リーダー制度にもとづき、リーダー会の組織化と基盤整備について研究・援助を行う。

- ・埼玉県スポーツ少年団リーダースクール（ジュニアコース）

市町村スポーツ少年団リーダーの資質の向上と、団活動の活発化をはかるための研修を実施し県内リーダー組織の充実を図る目的とし、さいたま市より派遣した。

実施期日…平成30年8月17日（木）～20日（日）3泊4日

会 場…スポーツ総合センター

対 象 者…各市町村スポーツ少年団における登録リーダーで、中学1年生から
中学3年生までの者

参 加 者…本太スパークルミニバスケットボールより5名 （前年 14名）
七里ジュニアミニバスケットボールクラブより5名 計10名

- ・キャプテンスクール開催

キャプテンスクールを通して、スポーツ少年団活動を正しく理解すると共に、キャプテン相互の友情と連帯を培い、健全なスポーツ少年団のキャプテン・副キャプテンを育成することを目的とし開催した。

実施期日…平成31年3月2日（土）

会 場…市民会館いわつき及び城址公園多目的広場

対 象 者…さいたま市スポーツ少年団に所属する単位団 正副キャプテン

参 加 者…9団 26名、リーダー5名 （前年 10団 27名）

Ⅲ スポーツ少年団体力テストの実施援助 (規程 第5条第3号)

1 体力テスト実施事業

発育・発達の著しい団員の健康管理はもとより、活動計画策定の基礎資料となる運動適性テストの実施促進を図った。

Ⅳ スポーツ少年団の団登録 (規程 第5条第4号)

1 スポーツ少年団登録受付事業

各単位団からの登録を受理し、埼玉県・日本スポーツ少年団への登録を行った。

受付期日…平成30年6月23日(土)～8月31日(金)

受付会場…岩槻東口コミュニティセンター プラザノース 下落合公民館

浦和コミュニティセンター サイデン化学アリーナ

内 容…登録用紙・登録費の受領及び団員・指導者認定証等の交付

登録数…団 数 253 団 前年比(+ 4)

指導者数 2,867 名 (+ 29)

団員数 8,566 名 (- 86)

Ⅴ その他、目的達成に必要な事業 (規程 第5条第5号)

1 スポーツ少年団専門委員会開催

スポーツ少年団本部事業を検討し、活動を推進するために委員会を設置した。

2 広報誌発行事業

団員・指導者に対して情報提供を図るとともに、本団の活動・理念を広く市民に発信するため、広報誌「すこやか」の発行を行った。

事業報告の附属明細書に記載すべき事項はありません。